

～ 志を高く 三刀屋中 ! ～

三刀屋中学校だより

令和2年1月

Tel 45-2421

謹賀新年・・・2020年・・・令和2年・庚子：新しい年のスタート！



新年あけましておめでとうございます。

2020年：令和2年：庚子：（かのえね）のスタートです。庚の年については、「あらたまる」、子の年については「ふえる」などの意味があると言われてきました。庚子は新しい生命が種の中で春の訪れを待つ状態、新しいスタートの年といえます。

目にとまった元旦の「新聞」コラムと企業の広告を以下に紹介します。

○朝日新聞のコラムから・・・

「自分の意志、考えを持ち・・・情報や機器を使いこなすことが大切」

ITで知識は得ることができるが、社会性を身につけるのは学校である。集団の中で自分がどう行動するか？実際の体験や経験を通して学ぶ必要がある。これからの未来を支えていくのは、AIに仕事を奪われるのではなく、有用な情報と機器を自分の意志や考えで活用する人材。そして、自分の興味を深く追求し、自分の好きなことを社会に生かす人間。

＊開成中・高等学校 柳沢校長のことは

「スポーツの魅力とは」

仲間との貴重な時間という「物語（ストーリー）」。

このスポーツをやっていてよかったという時間。

＊ラグビー協会 清宮副会長のことは

○集英社の広告より・・・上から読むか逆にして読むか・・・？



左側：才能と努力

右側：可能性と無限大

・・・上から読んでも逆さにして読んでもその通り！

○そごう・西武のCMより・・・絶体絶命（左）？・・・逆から読むと・・・大逆転は起こりうる（右）！

「大逆転は、起こりうる。
わたしは、その言葉を信じない。
どうせ奇跡なんて起こらない。
それでも人々は無責任に言うだろう。
小さな者でも大きな相手に立ち向かえ。
誰とも違う発想や工夫を駆使して闘え。
今こそ自分を貫くときだ。
しかし、そんな考え方は馬鹿げている。
勝ち目のない勝負はあきらめるのが賢明だ。
わたしはただ、為す術もなく押し込まれる。
土俵際、もはや絶体絶命。」

「土俵際、もはや絶体絶命。
わたしはただ、為す術もなく押し込まれる。
勝ち目のない勝負はあきらめるのが賢明だ。
しかし、そんな考え方は馬鹿げている。
今こそ自分を貫くときだ。
誰とも違う発想や工夫を駆使して闘え。
小さな者でも大きな相手に立ち向かえ。
それでも人々は無責任に言うだろう。
どうせ奇跡なんて起こらない。
わたしは、その言葉を信じない。
大逆転は、起こりうる。」

大相撲の小兵人気力士炎鵬関を起用したCM

2020年 庚子…新しいスタートを大切に、『未来』の自分をつくるために、三刀屋中の仲間と
しっかり学習に集中、生徒会に参画、部活動に熱中して行ってほしい。・・・始業式での校長講話から

部活動に熱中！・・・吹奏楽部：アンサンブルコンテスト上位入賞！→中国大会3年連続出場！！

12月21日に安来市のアル
テピアで開催されたアンサ
ンブルコンテスト県大会に
木管八重奏と管打八重奏が
出場し、みごと上位入賞を果
たしました。

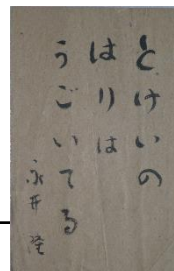


管打八重奏は、2月1日に鳥取市で開催される中国大会の出場権を獲得しました。

「1月の隆博士」から

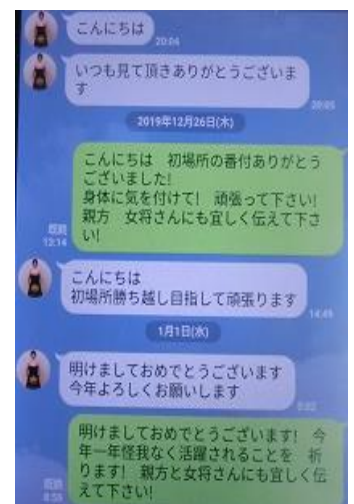
「とけいの はりは うごいてる」

・・・隆博士のはがきからみなさんは何を思いますか？



校長コラム 新年のあいさつに思う・・・

学校へ各方面からたくさんの年賀状をいただきました。紙面をお借りしてお礼申し上げます。その中に各先生方に宛てたかつての教え子からの年賀状も多数含まれていました。高校や社会人になってからも、中学時代の恩師へのお礼と近況を知らせる年賀状に、中学時代の深い絆を想像するとともに使命の重さを改めて感じました。私には、大相撲・鳴戸部屋で修行する山根駿也さんから元旦に年賀のLINEが届きました。（山根さんは、場所ごとに学校へ番付表を送ってくれています。年末には2020年の大相撲カレンダーも送ってくれました。）新年のあいさつとともに「初場所勝ち越し」と力強く書かれていました。親方の厳しく温かい指導で身体も心も鍛えられプロの世界で奮闘する山根さん、令和2年の活躍を祈ります。・・・それぞれの年頭のあいさつに込められた想いを感じました。



2020年も「志を高く 三刀屋中！」「地域を元気にする学校」を目指して頑張ります！